



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 ヒビノ株式会社
 コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3740-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,000	△6.0	△41	—	278	△32.9	177	△28.6
29年3月期第1四半期	6,382	8.5	368	△39.6	415	△38.9	248	△43.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 195百万円 (△11.3%) 29年3月期第1四半期 220百万円 (△52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.77	—
29年3月期第1四半期	24.87	—

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,756	8,631	39.7
29年3月期	22,430	8,586	38.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 8,631百万円 29年3月期 8,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△0.5	650	△49.0	900	△34.6	600	△35.3	59.94
通期	30,000	3.0	1,650	△17.9	2,000	△7.4	1,350	△10.0	134.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) Hibino USA, Inc.、H&X Technologies, Inc.、除外 1 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	10,265,480 株	29年3月期	10,265,480 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	255,820 株	29年3月期	255,820 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	10,009,660 株	29年3月期1Q	10,009,801 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等により、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループ(当社と連結子会社14社)は、3ヵ年の中期経営計画「ビジョン300」(平成28年3月期～平成30年3月期)に基づき、「音響」「映像」「音楽」「ライブ」分野における多角化とシナジーの創出により強い事業構造を構築する「ハニカム型経営」の実践に取り組んでおります。

日本、アジア・パシフィック、欧州、北米でのワールドワイドな事業展開を目指す「世界4極体制」の構築に向け、当第1四半期には、アメリカ・カリフォルニア州に「Hibino USA, Inc.」及び「H&X Technologies, Inc.」の2社を設立いたしました。

当第1四半期連結累計期間は、2020年に向けた設備投資や旺盛なコンサート・イベント需要を背景に概ね良好な経営環境が続いておりますが、音響機器販売・施工事業の出足が遅く、前年同四半期と比べ売上高が減少いたしました。また、連結子会社の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。

これらの結果、売上高6,000百万円(前年同四半期比6.0%減)、営業損失41百万円(前年同四半期は営業利益368百万円)となり、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う固定資産受贈益等を計上したことにより経常利益278百万円(同32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円(同28.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[音響機器販売・施工事業]

音響機器販売・施工事業は、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う特需が終息したことに加え、一部大型施工案件の進捗に遅れが生じたこと等により、減収減益となりました。平成29年3月期第3四半期に新たに連結子会社となった株式会社JVCケンウッド・アークス(平成29年7月1日付でヒビノアークス株式会社に商号を変更)の業績が通年で加わりますが、主要顧客である官公庁・自治体等への納期が第4四半期に集中することから、第1四半期連結累計期間における寄与は限定的でありました。一方、売上の基礎となる流通商品の販売は依然好調であり、安定的に推移いたしました。

これらの結果、売上高3,071百万円(前年同四半期比11.4%減)、セグメント損失122百万円(前年同四半期はセグメント利益267百万円)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や都市再開発等を背景に、大型映像装置の新設・リニューアルに向けた動きが活発化し引き合いが増加しております。このような状況のもと、東京・渋谷駅周辺地区再開発の一環で建設された複合施設「渋谷キャスト」や、「横浜・八景島シーパラダイス」など注目度が高いスポットにLEDディスプレイ・システムを納入し、大型案件があった前年同四半期実績には届かなかったものの、黒字を確保いたしました。

これらの結果、売上高283百万円(前年同四半期比10.2%減)、セグメント利益15百万円(同68.2%減)となりました。

[コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、主軸であるコンサート市場で安定的な受注を確保したことに加え、大型の企業イベント、コンベンション案件を多数獲得できたことから、前年同四半期実績を上回りました。

これらの結果、売上高2,516百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益331百万円(同18.1%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高127百万円(前年同四半期比53.5%増)、セグメント利益3百万円(前年同四半期はセグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は21,756百万円となり、前連結会計年度末と比べて674百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債合計は13,124百万円となり、前連結会計年度末と比べて719百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金並びに賞与引当金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は8,631百万円となり、前連結会計年度末と比べて45百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成29年5月12日「平成29年3月期 決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,991	2,904,394
受取手形及び売掛金	7,115,637	4,802,079
商品及び製品	2,699,451	2,974,186
仕掛品	365,250	522,917
原材料及び貯蔵品	95,617	100,625
その他	893,800	971,136
貸倒引当金	△86,634	△85,571
流動資産合計	13,484,114	12,189,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,665,561	1,665,605
減価償却累計額	△1,104,403	△1,123,142
建物及び構築物(純額)	561,158	542,462
機械装置及び運搬具	10,226,997	10,322,597
減価償却累計額	△7,113,830	△7,314,569
機械装置及び運搬具(純額)	3,113,167	3,008,027
工具、器具及び備品	1,253,372	1,389,354
減価償却累計額	△930,458	△972,463
工具、器具及び備品(純額)	322,914	416,890
リース資産	2,010,869	1,879,800
減価償却累計額	△1,319,750	△1,261,220
リース資産(純額)	691,119	618,579
その他	762,459	1,568,988
有形固定資産合計	5,450,818	6,154,948
無形固定資産		
のれん	1,068,001	1,023,569
その他	337,070	338,167
無形固定資産合計	1,405,072	1,361,737
投資その他の資産		
その他	2,151,521	2,107,386
貸倒引当金	△60,615	△57,714
投資その他の資産合計	2,090,905	2,049,672
固定資産合計	8,946,796	9,566,357
資産合計	22,430,911	21,756,125

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,296,042	1,912,460
短期借入金	1,817,517	1,761,252
1年内返済予定の長期借入金	1,119,432	1,098,729
リース債務	328,667	302,878
未払法人税等	176,779	54,858
賞与引当金	749,120	302,734
資産除去債務	49,630	49,630
その他	1,763,897	2,342,917
流動負債合計	8,301,086	7,825,462
固定負債		
長期借入金	2,643,422	2,480,916
リース債務	535,765	469,849
退職給付に係る負債	2,129,605	2,163,350
資産除去債務	23,586	23,660
その他	210,914	161,347
固定負債合計	5,543,294	5,299,123
負債合計	13,844,381	13,124,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,054,027	2,054,027
利益剰余金	4,890,818	4,918,526
自己株式	△77,762	△77,762
株主資本合計	8,615,738	8,643,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,865	18,608
繰延ヘッジ損益	77	3,421
為替換算調整勘定	27,729	33,357
退職給付に係る調整累計額	△70,956	△67,366
その他の包括利益累計額合計	△29,283	△11,978
非支配株主持分	75	73
純資産合計	8,586,530	8,631,540
負債純資産合計	22,430,911	21,756,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,382,144	6,000,349
売上原価	4,276,042	3,859,412
売上総利益	2,106,102	2,140,936
販売費及び一般管理費	1,737,742	2,182,843
営業利益又は営業損失(△)	368,360	△41,907
営業外収益		
受取利息	236	408
受取配当金	1,402	1,567
固定資産受贈益	88,105	263,893
その他	12,784	71,069
営業外収益合計	102,528	336,938
営業外費用		
支払利息	17,885	12,775
持分法による投資損失	25,951	—
為替差損	4,374	1,781
その他	7,029	1,740
営業外費用合計	55,241	16,296
経常利益	415,647	278,734
税金等調整前四半期純利益	415,647	278,734
法人税等	166,710	100,884
四半期純利益	248,937	177,850
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,937	177,852

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	248,937	177,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,702	4,743
繰延ヘッジ損益	3,940	3,344
為替換算調整勘定	△32,399	5,627
退職給付に係る調整額	3,605	3,589
持分法適用会社に対する持分相当額	△353	—
その他の包括利益合計	△28,909	17,305
四半期包括利益	220,027	195,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,027	195,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,467,596	316,205	2,515,174	83,168	6,382,144	—	6,382,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	161,246	41,870	11,470	7,340	221,927	△221,927	—
計	3,628,843	358,075	2,526,645	90,508	6,604,072	△221,927	6,382,144
セグメント利益又は 損失(△)	267,398	47,187	280,554	△1,581	593,558	△225,198	368,360

(注) 1. セグメント利益の調整額△225,198千円には、セグメント間取引消去△37,669千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,529千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,071,863	283,954	2,516,877	127,655	6,000,349	—	6,000,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,100	3,136	129,619	401	138,258	△138,258	—
計	3,076,964	287,090	2,646,496	128,056	6,138,608	△138,258	6,000,349
セグメント利益又は 損失(△)	△122,681	15,028	331,387	3,266	227,001	△268,908	△41,907

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,908千円には、セグメント間取引消去△1,029千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△267,878千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。